※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１９

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	芸術表現Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・創作分野の学習をより深め、表現に重きをおいて自由な発想から作品を創る楽しさ、喜びを体験してほしいと思います。

2　学習の到達目標

・芸術作品の制作を通じ、完成するまでの手順を理解し、丁寧に仕上げていく技術、技能を学ぶ。
・木彫やカレンダーなど、用具や用材の制約の中で工夫しながら完成する過程を思考し、独自性を大切に芸術的な自己の感性について判断し、それを表現するよう努める。
・書道パフォーマンスなど協力して作品制作をする過程で、仲間と協同する力を深め、互いの人間性を大切にする力を学ぶ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	表現の方法や形式について幅広く理解し、その技能を身につけるようにしている。	作品の良さや美しさを感じる感性を磨き、自らの意図に基づいて構想し思考し、それを表現する力を身につけるよう工夫している。	主体的に課題に取り組み、作品を大切にする心や、自他共の作品も含め干渉する態度を養うよう努めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	刻字	刻字 木彫にふさわしい材質の材料を用い、創造性豊かな原稿を、彫刻刀で立体的に刻していく。 作品の意図に応じ、着色し、仕上げる	a:用具、用材の特性を理解する b:字書や書籍などから検字し、感性豊かに表現しようとしている c:相互に作品を鑑賞し、作品を尊重する態度を表している。	作業状況の観察	提出作品	作業状況の観察
後期	カレンダー	主題を決め、2か月ごとに1枚のカレンダーを作成する。季節の変化に応じ、墨や顔彩、その他の用材を効果的に用い、表現する。	a:用具、用材に合わせ、筆の用筆の原理を理解し、その技法を身につけている。 b:四季の移り変わりに応じ、統一感を持たせながら、変化に富んだ表現をしている。 c:何度も書き直し、自分の感性に合う表現を模索している。	提出作品	提出作品	作業状況の観察
	合同作品	テーマを決め、それに添いながら、個人の担当内容を表現し、合同作品(書道パフォーマンス)として統一性ある作品を完成させる	a:テーマについて考察し、合同作品の全体像を理解している。 b:テーマについて思考し、その内容に応じ、自己の独自性を大切にしながら、作品として表現している。 c:互いを理解し、助け合いながら作品を完成させている。	提出作品	提出作品、グループ発表	作業状況の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度